

【1】

解答

1. イ
2. 石原莞爾 林銑十郎
3. ア
4. エ

【2】

解答

1. ウ
2. エ
3. クリメント・ヴォロシーロフ
4. イ
5. イ
6. ア
7. オ

解説

2. 岡村寧次、小畑敏四郎、永田鉄山は陸軍士官学校 16 期。彼らを中心となって結成した一夕会が、後に永田を中心とする統制派と小畑などの皇道派に分裂する。服部卓四郎は陸軍士官学校 34 期。
5. サラゴサ条約はスペインとポルトガルがアジアの勢力圏を分けた条約。ペリンダバ条約はアフリカを対象地域とした非核兵器地帯条約。ラロトンガ条約は南太平洋を対象地域とした非核兵器地帯条約。
6. 赤羽刀は現在いくつかの博物館に貸与されて展示が行われている。また、元の所有者が分かる刀については返還されている。

【3】 オスマン帝国末期の軍事行動

解答

1. ウ
2. ア
3. ア
4.
ア○
イ○
ウ×

解説

2. この後エディルネは取り戻せず、講和条約でオスマン帝国は一時エディルネを喪失した。しかしこの後の第二次バルカン戦争でブルガリアを攻撃しエディルネを回復、エンヴィルはエディルネを回復した「英雄」と呼ばれた。
3. この攻勢は冬季装備なしで、反対する将校を左遷させた上で行われた。結果大量の凍死者と餓死者を出し、部隊は壊滅した。
4.
イ：この指揮官は降伏勧告に対し、「私はオスマン人、イスラーム教徒だ。バリ・ベイの息子で軍人だ」と返答した。しかし最後には過酷な環境と祖国の降伏で脱走兵が出始め、降伏を認めた。
ウ：確かに中東方面は劣勢だったが、首脳部は当時戦線が安定していて持ちこたえられると判断した。さらにこの時期ドイツ帝国が西部戦線で大突破に成功しており、我々は戦勝国側につけたのではないかと、ドイツは勝利するのでは、と楽観的な見方も支配的だった。結果実行された。

【4】 ロシア内戦

解答

1. ア
 2. ウ
 - 3.
- ア○
イ×
ウ×

解説

2. 赤軍側が名目上ユダヤ人差別を掲げなかったため、白軍側は民衆の支持を得ようとユダヤ人への差別意識を利用、ユダヤ人と赤軍を結びつけるようなプロパガンダを展開した。

3.

ア：1919年から始まったポーランド・ソヴィエト戦争は、一時ワルシャワ近郊まで赤軍が迫ったが、ポーランドは首都右翼からの反撃と大包囲を成功させ、ポーランドの勝利でこの年終結した。

イ：ウクライナでの黒軍の蜂起（アナキストのマフノが主導した蜂起・運動）は1918年からのものである。一時は赤軍と協力してデニーキン率いる白軍をウクライナから駆逐したが、赤軍に裏切られて崩壊した。

ウ：カイザーライヒです。